

## 令和4年 青松同窓会 定時総会 議事録

開催日時：令和4年6月18日（土）午後2時～午後3時

開催場所：大阪教育大学附属天王寺中・高等学校 3階小講堂

オンライン会議システム ZOOM を併用してのハイブリッド開催

出席者数：36名

司会：平井副会長

### ・藤井会長挨拶

同窓会活動の1つである広報誌の作成もコロナ禍で各期の同窓会が自粛となっており、また取材も難しいことから記事が少なくなっているが、社会活動も徐々に動き出しており、今後同窓会活動も活発になると期待される。植田委員長を中心に会報誌のさらなる充実を図っていきたいと思っている。今年度は懇親会が実施できなかったが、来年度は皆さまと一緒に総会、懇親会でお会いできることを期待している。

### ・母校の活動報告

総会に先立ち母校の活動報告を高校糠野副校長および中学廣瀬副校長より紹介いただいた。

高校：中島里菜さん（中71期・高65期）は水滴に関する研究で日本ガイシ賞を受賞し、今回世界的な大会「国際学生科学技術フェア（Regeneron ISEF）2022」に参加し、物理学・天文学部門で優秀賞4等を受賞（文部科学大臣賞も受賞）。学校生活では、3年ぶりに1年生の討論合宿、長居競技場での体育大会を実施。SSHの指定校は外れたが、これまでの経験を活かし、本年もサイエンスプログラムを実施していく予定である。また、本プログラムの1つである海外校（米国およびタイ）との交流もコロナ禍で中止になっていたが、再開予定である。

中学：宿泊行事として1年生の合宿訓練、3年生の乗鞍への修学旅行を実施。出発前の感染対策を校医浅井先生の指導のもと徹底することで、無事終えることができた。また、規模を縮小して、3年ぶりに体育大会も実施できた。普段の学習指導ではGIGAスクール構想が実現し、1人1端末での授業が行われている。

### ・議長選任

執行部一任の発言を受け、参加者からの拍手を持って藤井会長が選任された。

### ・議事

#### 1) 令和3年度 事業報告

令和3年4月1日から令和4年3月31日までの事業報告。①総会・懇親会の開催、②会報「青松」の発行、③終身会費制、④支部総会、⑤同期会・クラブOB会、⑥理事会、常任理事会、四役会の開催について芳武副会長より報告。多数拍手にて承認。

#### 2) 令和3年度 会計報告

令和3年4月1日から令和4年3月31日までの会計報告。一般会計報告、名簿会計報告、財産目録の明細、特別会計報告について吉村（計）会計理事より報告。多数拍手にて承認。

### 3) 会計監査報告

令和3年度の会計監査を吉村（盛）監事と行い、領収書等の関係書類を確認し、適正に処理されていることを確認した旨の報告が下代監事よりなされた。多数拍手にて承認。監事からのコメントとして、今後同窓会活動を活発にしていくにあたり若い方の参加を促す施策を検討するにあたり、予算を計上してもいいのではないかと意見をいただいた。

### 4) 令和4年度 事業計画案

令和4年4月1日から令和5年3月31日までの事業計画案。①令和4年総会、②会報「青松」の発行、③会報総集編の販売促進、④理事会・常任理事会・4役会の開催、⑤支部会の開催、⑥委員会活動の充実（広報、名簿・会計、総会）、⑦会費納入率の向上、⑧住所不明理事の調査、発掘、⑨同期会の活性化、⑩終身会費制を計画案として芳武副会長より提案。多数拍手にて承認。

植田常任理事より次号に向けての抱負、北米支部西野様より ZOOM を活用した支部会の紹介があり、コロナ禍でも活発な活動を推進。

### 5) 令和4年度 予算案

令和4年4月1日から令和5年3月31日までの会計予算案。一般会計予算案について吉村会計理事より提案。多数拍手にて承認。

### 6) その他

藤井会長より青松同窓会の留保金に関して説明。学校で緊急に資金が必要になった場合に対応できるように留保している。例えばコロナによりオンラインの授業を導入しなければならぬ際に、学校側に同窓会から申し出たケースもあった（最終的には大学費用で対応）。このような緊急時に生徒の教育が滞らないように使っていただける資金として留保している旨の説明がなされた。多数拍手にて本主旨に対して承認をいただいた。

以上

議事録作成： 池田 希与子

署名： 井上 周